



献血とは、
輸血を必要とする方のために、
健康な方が血液を提供する
ボランティア。

あなたには
人の命を助ける力があります。
この機会に「献血」
はじめてみませんか。

11月23日(日)

10:00~13:00/14:00~16:00

受付：粉浜小学校

協力：粉浜四校園PTA連絡協議会 大阪すみのえライオンズクラブ

* 400mL献血へのご協力をよろしくお願ひいたします(体重50kg以上の方)。
200mL献血は必要数に達し次第、受付を終了いたします。

★★★献血にご協力いただいた方には

大阪すみのえライオンズより記念品を進呈いたします★★★

*アプリ・Web「ラブラッド」予約も実施中！(献血が初めての方もご予約いただけます)

*ご予約いただき、献血にご協力いただけた方に予約記念品を進呈！

(※受付の3時間前まで予約可能です。事前問診は受付15分前までにご利用ください)



みなさまの献血のご協力が患者様を支えます！ ～輸血を受けられた方やそのご家族からのメッセージ～

❶ 献血ありがとう

ほのママさん

【献血ありがとう】

娘が2歳の誕生日を迎えて数日後に白血病になり、様々な事を覚えて話したり、動きが活発になったりという大事な時期の約1年間を病院で過ごしました。小さかったこともあり、ツライ検査や治療なども今となっては本人はあまり覚えていませんが、治療の度に輸血を行い、輸血パックに貼られているシールを見ては、今日は○○県の方の大切な血液を頂いているんだな…と感謝の日々でした。



今は5歳になり、毎日元気に保育園へ通うことが出来ているのも、治療してくださった先生や看護師さんはもちろんの事、献血をしてくださっている方々が居るからこそ、こうして過ごす事が出来ているので感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

私自身、今は行ける時間を見つけて、献血ルームへ足を運ばせてもらい、少しでも私の血液が必要な方の役に立てば…という思いで献血させてもらっています。

❷ 生きて我が子を育てられることに感謝

K.Rさん

【献血者の方々の優しい気持ちのおかげで、我が子を育てることができます】

第一子を授かり、順調にお産も進み我が子と対面。夫婦で喜んでいる際に腹部の激痛が襲いました。バタバタする分娩室。看護師であったこともあり、私に何か起ったことはすぐに分かりました。数万件に1件ほどのまれな疾患であり、約6Lの出血による出血性ショックで意識を失いました。大量の輸血、手術をし、目を覚ました時は出産して丸一日後のICUのベッドでした。後になって担当医から輸血が確保できていなかったら、命はなかったと聞きました。



意識がなくなる前、「絶対に子どものために生きる」と決めて目を閉じたあの瞬間は一生忘れません。こうして今、生きて我が子を育てることができているのは、献血していただいた方々の優しい気持ちのおかげだと思っています。感謝の気持ちでいっぱいです。

看護師として働いていた際も、輸血の大切さは知っていたつもりでした。しかし、自分自身が輸血を経験し、以前よりも輸血の大切さを再認識することができました。一人でも多くの人に、輸血で救える命があることを知ってもらい、献血しようと思える人が増えるよう願っています。

みなさまの献血へのご協力をお願いいたします！